

2025年度シラバス

スタイリスト・コーディネーター科 1年

授業科目	必・選の別	年間授業 時間数	単位数	担当教員	業界実務経験	ページ
スタイリング I	必修	90	3	長田 広美	有	2
ヘアメイク	必修	90	3	猪股 義明 成田 幸代	有	4
カラー	必修	90	3	落合 里美	有	6
ファッションビジネス	必修	90	3	面田 憲郎	有	8
リテールマーケティング I	必修	45	1.5	畑中 修司	有	10
ビジュアルマーチャンダイジング I	必修	45	1.5	小池 寛子	有	12
ファッション画	必修	90	3	松本 和子	有	14
ファッション造形 I	必修	90	3	小峯 有華 福原 葉瑠子	有	16
素材	必修	45	1.5	島田 朋子	有	18
ファッション論	必修	45	1.5	清水 早苗	有	20
パソコンワーク	必修	90	3	塚田 大祐	有	22
コミュニケーションマナー	必修	45	1.5	塩山 玲	有	24
英会話 I	必修	45	1.5	NATHAN HORNSBY JERRY SCHLEGEL	無	26
校外研修 I	必修	30	1	福原 葉瑠子	無	30
インターンシップ I	選択	30	1	福原 葉瑠子	無	32
ショープロデュース I	選択	30	1	福原 葉瑠子	無	34
ショーフィッター I	選択	30	1	福原 葉瑠子	無	36
ショーヘアメイク I	選択	30	1	猪股 義明 成田 幸代	有	38
ショーモデルウォーキング I	選択	30	1	三島 亜希子	有	40

科 目 名	スタイリング I	教 員 名	長田 広美
授業時数・単位	90 時間 3 単位	対象クラス	SC 科 1 年
授業テーマ・概要	・ファッション業界のプロになるにあたり、必要で汎用性の高い基礎的なファッションの知識を身につける ・撮影、リサーチ、プレゼンなど実践に即した経験をする ・社会でプロフェッショナルとして生き抜く基礎力を、考え方の側面から養う		
到 達 目 標	・服の基本的な構造、着方を知る ・コレクションの歴史と変遷、見方、取り入れ方を知る ・カルチャーやアートとファッションの関係を知る ・トレンドの作られ方と意識の仕方を実感する ・撮影など現場の動きを体験する ・自分のポートフォリオの作成(自分自身の好みと強みを知る)		
授 業 の 方 法	・講義⇒学んだ知識を取り入れたスタイリング作り⇒発表(プレゼン)⇒フィードバック この一連の過程の中で、知識を得ること、得た知識をスタイリングに落とし込む実践力、 スタイリング作りの細かいスキル、プレゼン力、現場での対応力を身につける		
成績評価の方法	・撮影実習3回において、リサーチプレゼン、スタイリングプラン、実際のスタイリング、プレゼンテーションが履行されることが必須。 ・講義型授業において、主体的発言、問題解決能力、創造的思考の評価 ・全体として到達目標への到達の度合いを評価する ※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。		
特 記 事 項			
教員の実務経験	☒ 有 無 実務概要(スタイリスト35年)		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	講義: 授業内容の説明・到達目標など／次回告知・コラージュ準備
2回	自分の好きなもの・コラージュ	ワーク: 自分の好きなもの～将来の夢をコラージュして発表
3回	ファッション業界の構造	講義: ファッション業界の職種、全体像の中でのスタイリストの仕事
4回	服を知る①	ワーク: 人の身体に服を着せる(1)JK/シャツ/肩で着るもの
5回	服を知る②	ワーク: 人の身体に服を着せる(2)ライン・シルエット・分量感のバランス
6回	服を知る③	講義: 自分の好きなスタイル/デニムの着こなし
7回	アシスタントワーク	スタイリストアシスタントワーク実習 (アイロン・スチーマー・タグ扱い・底張りなど)
8回	ファッションとカルチャー①	講義: ファッションの歴史①(ポワレ～YSL)
9回	ファッションとカルチャー②	講義: ファッションの歴史 & 音楽 & アート②(50's～80's)
10回	ファッションとカルチャー③	講義: ファッションの歴史 & 音楽 & アート③(80's～)／撮影実習告知
11回	ファッションのテイスト	講義: 様々な切り口からのファッションのテイスト→街に出てリサーチ
12回	登場人物スタイリング	ドラマ・映画の人物を想定してスタイリングをする
13回	撮影実習Ⅰ－①	造形で作るデニムリメイクを使ってスタイリングプランチェック →ロケハン
14回	撮影実習Ⅰ－②	スタイリング実物チェック
15回	撮影実習Ⅰ－③	撮影実習・スマホでロケ撮影
16回	撮影実習Ⅰ－④	プレゼンテーション&フィードバック／個別ミーティング／ 次回撮影実習プランチェック告知
17回	コレクショントレンドと街リサーチ	コレクショントレンド解説～街をリサーチしてトレンドを見つける
18回	ドレスコード	講義: ファッションマナー・ドレスコード
19回	撮影実習Ⅱ－①	テーマのリサーチ&スタイリングプランチェック
20回	撮影実習Ⅱ－②	スタイリング実物ブラッシュアップ
21回	撮影実習Ⅱ－③	プロのフォトグラファーによる撮影実習
22回	撮影実習Ⅱ－④	プレゼンテーション&フィードバック／修了展導入テーマ決め
23回	修了展プロジェクト①	テーマのリサーチ&スタイリングプランチェック
24回	修了展プロジェクト②	修了展企画プランプレゼン資料制作→次回ヘアメイク授業でプレゼン
25回	修了展プロジェクト③	スタイリング実物チェック
26回	修了展プロジェクト③	スタイリング実物ブラッシュアップ／東コレ映像解説
27回	修了展プロジェクト④	ヘアメイクと合同授業: 修了展作品撮影
28回	修了展プロジェクト⑤	プレゼンテーション／データセレクト
29回	テスト／ミーティング	テスト／ミーティング
30回	総括	ポートフォリオ見直し & 年間の総括

1日3時間 × 30回 = 90時間

科 目 名	ヘアメイク	教 員 名	猪股 義明 ・ 成田 幸代
授業時数・単位	90 時間 3 単位	対象クラス	SC 科 1 年
授業テーマ・概要	・ヘアメイクにより自分自身の印象をTPOに合わせて整えるスキルを身につける。 ・モデル(個)のイメージを変化させる事を学び、トータルで演出、表現出来る技術と感性を習得する。 ・ヘアメイク、ヘッド作成やネイルなどのノウハウを学習し全身をコーディネート(スタイリング)する力を養い向上させる。		
到達目標	・さまざまなイメージや年代別でのトレンドを理解し実践する事で、現場での理解度を高めていく。 ・洋服のスタイリングやデザインをヘアメイクを加える事により、トータルにイメージ作り出来る表現力や視点を幅広く伸ばし、養う事を目標とする。		
授 業 の 方 法	技術と感性、両面での物作りの実技講習、ヘアメイクの知識、スキルの指導。 ファッションショー、雑誌、広告撮影などの現場での状況を解説し、対応出来る知識の習得。		
成績評価の方法	・出席率:40% 人間関係の構築と信頼 ・受講姿勢:40% 聞く力をつける(理解力) ・課題の出来栄え:10% アイデアと完成度 ・テスト:10% 理解力の確認 ※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。		
特 記 事 項			
教員の実務経験	☒ 有 実務概要(ファッションショー、広告、TVCM、雑誌等のヘアメイク)		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	目標設定・道具説明	ヘアメイクの心得・セッティング
2回	スキンケア・ベースメイク	ベースメイク～ファンデーション 肌の質感:フェイスバランス
3回	アイブロウ・フェイスバランス	バランス・描き方 イメージ別
4回	アイメイク・アイシャドウ・アイライナー	シャープとラウンド 縦、横、グラデーション
5回	リップ・チーク・シェーディング	イメージ別(スタンダード・シャープ・ラウンド・オブロング)
6回	80's 90's メイク	インライン・リップライナー・カラーメイク
7回	ナチュラルヘア	ストレートブロー・パートの取り方、アイロンの使い方
8回	70's メイク	パール、グリッターメイク
9回	アイロンの使い方	ウェーブヘア
10回	50's 60's メイク	キャッツラインメイク、ダブルラインメイク
11回	30's メイク	ダークカラーグラデーション
12回	三つ編み	三つ編みスタイル・ゴムの結び方
13回	撮影説明・アイデア出し	撮影(ビューティー)の説明とアイデア出し
14回	撮影・練習(本番通り)	本番と同じヘアメイク、衣装で仕上げて時間を出す
15回	撮影・本番	作品撮影
16回	アップスタイル	ポニーテール・シニヨン
17回	着物メイク	着物を着る時のメイクポイント
18回	着物ヘア	現代風着物ヘア
19回	アートヘア①	編み込みヘアスタイル
20回	アートメイク	素材や色を使ったメイク
21回	アートヘア②	素材を使ったヘアスタイル
22回	ネイルアート①	ネイルの塗り方・デザイン
23回	ネイルアート②	チップ作品作り
24回	ネイルアート③	チップ作品作り
25回	ネイルアート④	チップのデコレーション
26回	撮影説明・アイデア出し	撮影のヘアメイクアイデア出し・衣装
27回	撮影・練習①(本番通り)	本番と同じヘアメイク、衣装で仕上げる
28回	撮影・練習②(本番通り)	本番と同じヘアメイク、衣装で仕上げる
29回	撮影・本番 作品撮影	作品撮影
30回	ファッションショー練習 ヘアとメイク	ヘアとメイクを完成させる

1日3時間 × 30回 = 90時間

科 目 名	カ ラ ー	教 員 名	落 合 里 美
授業時数・単位	90 時間 3 単位	対象クラス	SC 科 1 年
授業テーマ・概要	デザインの三大要素の一つである色彩は、最も顧客の興味を引き付ける力を持っていると言われています。 この授業では、そのような色彩のもつ力を最大限に活用するための基礎的な知識を習得していきます。 色のしくみ、色のもつ感情効果、対比や同化、面積効果などの色による様々な効果について、 配色の基本とファッション業界でよく使われる応用配色、また流行色の流れ、色を使ったVMDの 基本的な知識、ファッションアドバイスにおける色彩活用のポイントなどについて学習することにより、 ファッション業界において企画、製造、販売のあらゆる分野で、色を仕掛け、顧客に喜ばれる 「売れる色彩」を計画するために必要な基本知識を身に付けることができます。		
到 達 目 標	カラーカードを使った演習課題や作品作りを通して、色を見る力を養い、ファッション業界で必要な色彩の 基礎知識や技術を身に付けると共に、「ファッション色彩能力検定3級」に合格することを目標とします。		
授 業 の 方 法	各单元ごと、講義により基本的な内容について学習した後、カラーカードを使った演習課題を行い、 実際に色を「見て」、「使う」練習を繰り返し、楽しく自然に色を使う力を身に付けていきます。 また、作品作りでは色彩だけでなく、形や大きさ、配置など、デザインをトータルで考えた上で、効果的に 色を使う訓練をしていきます。色を感覚的に使うのではなく、色を理論として捉え、説得力のある 色使いができるようになるために、作品の分析や発表（プレゼンテーション）なども行っていきます。		
成績評価の方法	◎出席率 10% ◎授業に対する積極性 加点+0～10% ◎期末テスト、ミニテスト 10% ◎演習課題（理解度、提出状況、課題への取り組み姿勢） 60% ◎作品による応用力 20% ※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。		
特 記 事 項	使用教材:ファッション色彩能力検定3級 公式テキスト「ファッション色彩Ⅰ」		
教員の実務経験	(有)・無 実務概要(インテリアスタイリング、パーソナルカラー診断、色彩心理)		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	教材のセッティング、身のまわりで使われている色の役割について
2回	色の三属性①	色の持つ性質について理解する(有彩色と無彩色、色の三属性)
3回	〃 ②	色相(マンセルシステムの基本10色相)
4回	〃 ③	明度、彩度、等色相面、色立体
5回	トーン①	各トーンの特徴とイメージ
6回	〃 ②	純色、清色、濁色
7回	配色の基本①	色相を基準とした配色方法
8回	〃 ②	トーンを基準とした配色方法
9回	応用配色①	グラデーション、レピテーション
10回	〃 ②	アクセントカラー配色
11回	〃 ③	セパレーションカラー配色
12回	ファッションカラーコーディネート①	トーン・オン・トーン配色、トーン・イン・トーン配色
13回	〃 ②	カマイユ配色、フォ・カマイユ配色、トータル配色
14回	〃 ③	コントラスト配色、マルチカラー配色
15回	店舗リサーチ	ショーウィンドウの色彩分析
16回	色彩構成	シンメトリー/アシンメトリー、ベースカラー/アソートカラー他
17回	色彩心理①	色の感情効果
18回	〃 ②	色の見え(対比、同化、面積効果他)
19回	混色理論	加法混色、減法混色、中間混色
20回	色が見える仕組み①	光と色
21回	〃 ②	視覚と色
22回	ファッション産業と色彩①	流行色
23回	〃 ②	素材と色、色名
24回	〃 ③	デザインと色彩
25回	〃 ④	VMD、ファッションアドバイスと色彩
26回	生活の中の色	服飾における色の役割、視認性・誘目性他
27回	ファッションカラーコーディネート①の応用①	作品制作
28回	〃 ②	〃
29回	〃 ③	〃
30回	〃 ④	作品の発表(プレゼンテーション)

1日3時間 × 30回 = 90時間

科 目 名	ファッションビジネス	教 員 名	面田 憲郎
授業時数・単位	90 時間 3 単位	対象クラス	SC 科 1 年
授業テーマ・概要	◎アパレル業界において業務上必要である基本的なビジネス知識への理解を第一に考え、あわせてファッション業界の全体像を理解しつつ、ファッションビジネスの幅広い習得を目指します。 また衣服の流通システムを理解するとともにブランドやショップへの理解、業界用語など幅広く習得していきます。 ◎一年を通して、業界知識、ファッション感度の向上、制作物を通じ、感性とプレゼン力の向上を目指します。 ◎ファッションビジネスへの理解を深め進路の幅を広げ、業界の多種多様な仕事へアプローチできる人材への成長を目指します。		
到 達 目 標	◎アパレル業界の全体像の把握、専門用語の理解をする。 ◎マップ制作(視覚的にまとめたもの)を通じて講義内容の復習と思考力、編集力、美意識を高めていく。		
授 業 の 方 法	◎ファッションニュース、トレンド、社会情勢などタイムリーな時事問題を取り上げつつ、ファッションビジネス、ブランドビジネスや知識、アパレル業界を取り巻く環境を理解していく。 ◎講義・実習を交える。講義では座学だけにならないよう学生参加型の内容とする。 ◎インプットのみにならないようアウトプットする場面も設ける。		
成績評価の方法	◎課題の内容・出来栄(含む提出期限) 70% ◎テスト 30% ◎授業、課題に対する積極性・授業態度(マナー) 加点+0 ~ 10% ◎発表の態度・わかりやすさ 加点+0~10% ◎出席率 加点+0~15% ※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。		
特 記 事 項			
教員の実務経験	(有)・ 無 実務概要(販売、営業、ディレクター、人材コンサル、スタイリスト、グラフィックデザイン)		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	授業予定、制作・提出方法、イントロダクション
2回	ファッションビジネス基礎	導入、生活者とファッション企業の関係
3回	↓	ファッションビジネスと生活者ニーズ・ウオンツ
4回	↓	ファッション業界の仕組み
5回	↓	ファッション小売産業と現状・今後
6回	↓	その他アパレル産業の概要・形態
7回	↓	EC業界の現状と今後
8回	↓	消費者行動とファッション表現
9回	↓	マーケティング基礎
10回	↓	マーケティング戦略・ポジショニング
11回	↓	リテールマーチャンダイジング基礎
12回	↓	係数から捉えるファッションビジネス
13回	↓	ファッション商品知識
14回	↓	ブランド、ショップからみるファッションビジネス・知識
15回	前期まとめ	前期まとめテスト
16回	顧客とファッション	顧客とファッション商品の細分化
17回	↓	ファッションテイスト 解説、店舗調査
18回	↓	ファッションテイスト 制作、感性イメージについて
19回	↓	ファッションイメージ感性分析① ソフィステイクート マップ制作
20回	↓	ファッションイメージ感性分析② モダン マップ制作
21回	↓	ファッションイメージ感性分析③ マニッシュ マップ制作
22回	↓	ファッションイメージ感性分析④ アクティブ マップ制作
23回	↓	ファッションイメージ感性分析⑤ カントリー マップ制作
24回	↓	ファッションイメージ感性分析⑥ エスニック マップ制作
25回	↓	ファッションイメージ感性分析⑦ ロマンティック マップ制作
26回	↓	ファッションイメージ感性分析⑧ エレガント マップ制作
27回	↓	ファッションイメージトレンド まとめ 各イメージとの関連
28回	総括	後期のまとめ&テスト
29回	↓	これからのファッションファッションビジネスへの視点
30回	↓	就職活動について

1日3時間 × 30回 = 90時間

科 目 名	リテールマーケティングⅠ	教 員 名	畑中 修司
授業時数・単位	45 時間 1.5 単位	対象クラス	SC 科 1 年
授業テーマ・概要	「ファッション販売能力検定3級」の対策に軸足をおき、授業を進めていきます。一方、生きた仕事の場の知識として、販売についての面白さ、楽しさなどを伝えていきます。 「販売＝コミュニケーション」です。コミュニケーションの上手・下手は個人差はありますが、個性を活かすことの重要性を理論を通して伝えていき、現場に出ても自信を持って商品の案内ができるよう、意識づけしていきます。 行動心理学的・社会心理学的な要素と、販売で最も必要なAIDMAを具体的な方法で案内していきます。また、データやリストの重要性も伝えていきます。		
到 達 目 標	ファッション販売能力検定3級 100%合格を目指します。 また、お客様の欲望やニーズに「共感できる能力」や人間性の勉強をしていきます。		
授 業 の 方 法	「ファッション販売能力検定3級」のテキストを用いて、授業の中で、要所を抜き出すプリントを準備して、記入していく方法と、「ファッション販売能力検定試験問題集3級」を使って、問題を出題する方法を取ります。 また、いずれかのタイミングで、スタイリストとして活躍している卒業生に来ていただき、スタイリストの仕事をするときに乗り越えることと、実際の仕事の内容について講演してもらいます。		
成績評価の方法	期末にテストを行い、得点した点数で評価します。 (テストの難易度に応じて加点調整する場合があります) 出席率はその度合いによって加点評価します。 ※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。		
特 記 事 項	プリントを多く配布しますので、確実にファイルしておくようにしてください。		
教員の実務経験	☒ 有 実務概要(アパレル小売業の店舗開発、ブランド開発、販売実務等)		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	授業内容の説明、注意事項、2年後の自分(目標設定)
2回	心理学的接客の準備	ソーシャルスタイル(対人性向)と現場の販売心理学
3回	ファッション販売能力検定3級対策1	ファッションの語源等、販売員の基礎知識
4回	ファッション販売能力検定3級対策2	ファッション・マーケティングについて
5回	ファッション販売能力検定3級対策3	小テスト
6回	ファッション販売能力検定3級対策4	ファッション販売業務について
7回	ファッション販売能力検定3級対策5	ファッション販売技術について
8回	ファッション販売能力検定3級対策6	店舗演出・VP展開、品質表示、アイテムについて
9回	ファッション販売能力検定3級対策7	プロジェクターによるクイズ形式のテスト
10回	マーケティングの全体概念	調べる・お客様を絞る・作る・値段をつける・準備する・知らせる
11回	FA・スタイリストの仕事の基本意識	顧客意識・品質意識・協調意識・目標意識・改善意識など
12回	欲求の理論と自己ブランディング	マズローの欲求5段階説と自己肯定感
13回	小売段階で必要なテキスタイル知識1	糸、組織などの、販売のプロとしての知識
14回	小売段階で必要なテキスタイル知識2	産地、海外の展示会の、販売のプロとしての知識
15回	前期カリキュラムの総復習と検定対策	理解度の確認とテスト
16回	商品クレームの種類と対応の現場	代表的な商品クレームと修整作業の可能性と限界
17回	ファッション販売能力検定3級対策8	テキストを見ながら小テストを行って答え合わせ A科目①
18回	ファッション販売能力検定3級対策9	テキストを見ながら小テストを行って答え合わせ A科目②
19回	ファッション販売能力検定3級対策10	テキストを見ながら小テストを行って答え合わせ A科目③
20回	ファッション販売能力検定3級対策11	テキストを見ながら小テストを行って答え合わせ B科目①
21回	ファッション販売能力検定3級対策12	テキストを見ながら小テストを行って答え合わせ B科目②
22回	ファッション販売能力検定3級対策13	テキストを見ながら小テストを行って答え合わせ B科目③
23回	ファッション販売能力検定3級対策14	プロジェクターによるクイズ形式のテスト
24回	検定3級試験対策 模擬テスト	過去に出題されたものからテスト
25回	答え合わせ	重要ポイントの説明と反復
26回	購買のための準備と行動	AIDMAとAISASの説明とインスタマーチャンダイジング
27回	SWOT分析の理解	強み、弱み、機会、脅威の分類の仕方
28回	フリークエンシーショッパーズプログラム	パレート法則とロングテール理論を易しく説明
29回	集客のポイント	SNSやステップメールなどの具体的活用について
30回	マーケティング理論のおさらい	小売業のマーケティング理論のおさらい

1日1.5時間 × 30回 = 45時間

科 目 名	ビジュアルマーチャンダイジングⅠ	教 員 名	小池 寛子
授業時数・単位	45 時間 1.5 単位	対象クラス	SC 科 1 年
授業テーマ・概要	ビジュアルマーチャンダイジング(VMD: Visual Merchandising)とは、商品の購入を促すために 行う視覚的な手法のことです。 お客様のメンタルとフィジカル両方に効果的に働きかけるVMDとは何か。 カスタマーショッピングエクスペリエンスを高めるVMDとは何か。 リサーチを通して「観察」する眼と「分析」する力を伸ばし、VMDを「計画」「実施」する能力を育てます。		
到達目標	・ビジュアルマーチャンダイジングの基礎理論を理解すること。 ・効果的な売り場づくり、商品陳列の基本を習得すること。 ・VMDとブランディングの関連性について理解すること。 ・VMDとマーケティングの関連性について理解すること。 ・3Dのデザイン力、クリエイティブ力を養うこと。		
授 業 の 方 法	・講義を通して理解力を深める。 ・リサーチを行うことで、VMDに対する観察力と分析力を向上させる。 ・実習で基礎的スキルを身につける。 ・作品製作でクリエイティブ力を養う。		
成績評価の方法	<前期> ・課題① 課題:50% ・課題② プラン／デザイン:50% <後期> ・課題③ 演習:50% ・課題④ プラン／デザイン:50% ◎課題の提出期限遅れ:減点 -1～-15点 ◎欠席:減点 -1～-15点 ※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。		
特 記 事 項			
教員の実務経験	(有)・ 無 実務概要(外資系ブランドでVMDとして20年勤務)		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	VMDとは	ブランディング & 仕掛け
2回	ゾーニング①	エントランスゾーン(スタンダード)
3回	ゾーニング②	エントランスゾーン(ラグジュアリー)
4回	グルーピング(IP)①	グルーピング(カテゴリー)
5回	グルーピング(IP)②	グルーピング(カラー／クロス)
6回	〈演習〉ラック①	ハンギングディスプレイ(ベーシック)
7回	ショップVM分析	ショップリサーチ プレゼンテーション
8回	〈演習〉ラック②／〈VMプラン〉①	ハンギングディスプレイ(ベーシック)／エントランスゾーンプラン
9回	〈演習〉ラック②／〈VMプラン〉②	ハンギングディスプレイ(ベーシック)／IP(壁ラック)プラン
10回	〈演習〉棚&テーブル①／〈VMプラン〉②	バッグ・ACC・たたみものディスプレイ／IP(壁ラック)プラン
11回	〈演習〉棚&テーブル①／〈VMプラン〉②	バッグ・ACC・たたみものディスプレイ／IP(壁ラック)プラン
12回	〈演習〉テーブル & キューブ①／〈VMプラン〉③	キッズ くつ・たたみものディスプレイ／IP(棚、テーブル)プラン
13回	プレゼンテーション	ミックスディスプレイ プレゼンテーション
14回	〈VMプラン〉④	インテリア・什器プラン
15回	プレゼンテーション	ショップVMプラン プレゼンテーション

1日3時間 × 15回 = 45時間

科 目 名	ファッション画	教 員 名	松本 和子
授業時数・単位	90 時間 3 単位	対象クラス	SC 科 1 年
授業テーマ・概要	ファッション業界において、ファッション画(イラスト、製品図)が描ける事は、イメージの表現伝達手段の一つとして、便利なことであり、大切なことです。 ファッション画の基礎を学ぶことで、他の授業、就職活動、その後の仕事上でのステップアップに役立ててもらいたいです。 絵を描く事は、対象物(人間、服、ファッショングッズ)をよく見ることです。 どの様に考え、服を捉え絵にしていくか？ 苦手意識を持っている人にも、シンプルに解りやすく、合理的に授業を進めていきます。		
到 達 目 標	・ファッション画の基本を理解し、イメージを伝達するための基礎的な描写手法を習得すること。 ・ファッション画を学ぶことで、服に対する興味と理解を深め、それまで漠然と眺めていた服を、もっと専門的に観る習慣を養うこと。 ・絵を描く中で服に関する専門用語を理解し、専門用語を使って服の説明ができるようになること。 (イメージしたスタイリングを絵型で説明できることを目指す) ・必要に応じてファッション画が描けるという自信を身につけること。		
授 業 の 方 法	学生の性格、個性、能力を理解したうえで、持っている良い部分を伸ばしていく。 また、努力することで、学生自らが成長する楽しさを感じ取れる授業を目指す。 少しずつでも自信が持てるようになり、新しい事にチャレンジする気持ちを育てていきたい。		
成績評価の方法	★ 課題の出来映え(含む、提出期限) 80% ★ 授業、課題に対する積極性 20% ★ 授業態度(マナー) 加点+0~20% ★ 出席率 加点+0~10% ※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。		
特 記 事 項	絵を描くことを、難しく考え過ぎないこと。(自分の気持ちを、のびのびと表現する) きちんと出席し、手を動かすことで1年間の答えが出ます。		
教員の実務経験	(有)・ 無 実務概要(ファッションデザイナー、クリエイター、イラストレーター)		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	F画を学ぶ目的、画材の説明、F画の基本練習 等
2回	プロポーション	F画の基本バランス、ポーズ及び動きについて
3回	シルエット 画材の扱い	基本シルエットの表現、画材の特徴を体験
4回	↓	↓
5回	動きのあるポーズ	服を魅力的に見せるポーズ
6回	人体部分練習	頭部、顔、手、脚
7回	↓	↓
8回	ディティール表現	ギャザー、フレア、プリーツ、襟、袖 等
9回	↓	↓
10回	クロッキー、デッサン	友達をモデルに
11回	着装表現(基礎)	基本アイテムの表現
12回	↓	スカート、パンツ、シャツ、ブラウス 等
13回	↓	↓
14回	素材表現	ウール、デニム、ファー、キルティング、透明、光沢 等
15回	↓	↓
16回	着装表現(応用)	ジャケット、コート
17回	↓	↓
18回	スタイリング表現1	テーマに沿ったスタイリング表現
19回	↓	↓
20回	服装史との関連	過去のファッションを表現する
21回	↓	↓
22回	スタイリング表現2	季節感の表現
23回	↓	↓
24回	ファッショングッズの表現	靴、ベルト、バッグ、帽子 等
25回	↓	↓
26回	クロッキー、デッサン	身近なものを描く
27回	修了作品	各自のテーマに沿ったF画を表現する
28回	↓	↓
29回	↓	↓
30回	1年間のまとめ	友だちを描く 自分を描く

1日3時間 × 30回 = 90時間

科 目 名	ファッション造形 I	教 員 名	小峯 有華 ・ 福原 葉瑠子
授業時数・単位	90 時間 3 単位	対象クラス	SC 科 1 年
授業テーマ・概要	・スタイリスト、ファッションアドバイザーに必要なアパレル商品知識を服作りを通して学習する。 ・アイテム製作を通してデザインに合わせた素材の扱い、パターンの構造や縫製テクニックを学ぶ。 ・オリジナルアイテムやリメイク作品をスタイリングに加えて、独創性のあるスタイリング作りに役立てる。 ・目標達成や納期を守るために時間管理や作業計画性を身につける。		
到達目標	・基本的な服のディテール名を学び、理解する。 ・ミシンを使用して小物の製作、リメイク製作ができる。 ・パターンを使って服作りができる。 ・簡単なお直しやボタンなどの付属品の手縫いができる。		
授 業 の 方 法	・ミシンや道具の扱い方の指導。 ・スタイリストの即戦力を身につける為、付属品の手付け、まつり縫いを指導。 ・学生達意思を尊重しながらデザインやアイテムに適した素材やディテールを提案、アドバイスする。 ・仕事になった時に、今授業でやっている作業がどう役立つのかを説明しながら指導する。		
成績評価の方法	①作品の品質評価(提出期限を含む) 40% ②出席率 50% ③授業、課題に対する積極性、態度 10% ◎筆記、実技テスト加点 +0～10% ※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。		
特 記 事 項			
教員の実務経験	(有)・ 無 実務概要(小峯:衣装製作、パタンナー／福原:縫製技術者)		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	自己紹介、授業説明、ミシンの扱い方
2回	ディテール説明	ジャケットやシャツなどのディテール名説明、生地の特徴
3回	バッグ製作	バッグのパターン配布、説明、パターンカット
4回	↓	裁断、アイロン
5回	↓	ミシン縫い
6回	↓	ミシン縫い
7回	デニムリメイク	リメイクに活用できるミシン技法説明(ギャザー、タックなど)
8回	↓	基本的な手縫の方法(まつり縫い3種)
9回	↓	リメイク作業
10回	↓	↓
11回	↓	↓
12回	↓	↓
13回	スカート製作	パターン配布、パターン説明、作業手順説明、作業
14回	↓	裁断
15回	↓	下準備(アイロン、芯貼り)
16回	↓	コンシールファスナー部分縫い
17回	↓	コンシールファスナー部分縫い、ベルト付け部分縫い
18回	↓	スカート本縫い
19回	↓	↓
20回	↓	↓
21回	パンツ製作	パターン配布、パターン説明、パターンカット
22回	↓	パターンカット、裁断
23回	↓	裁断、下準備
24回	↓	本縫い
25回	↓	ファスナー付け部分縫い
26回	↓	ファスナー付け部分縫い
27回	修了展フォロー(変更あり)	修了展の製作フォロー(変更あり)
28回	パンツ製作	パンツ本縫い
29回	↓	↓
30回	課題仕上げ、筆記テスト	パンツ仕上げ、1年間のまとめ筆記テスト

1日3時間 × 30回 = 90時間

科 目 名	素 材	教 員 名	島田 朋子
授業時数・単位	45 時間 1.5 単位	対象クラス	SC 科 1 年
授業テーマ・概要	・ファッション業界の流れ、その中で作られていく素材のポジションと意味を知る ・アパレルで使用頻度の高い服地(綿・麻・毛織物・絹・化合織・複合素材・ジャージーなど) 基本服地100種ほどを学ぶ ・服地の良否の見分け方やデザインにマッチした服地素材のセレクトの仕方を学ぶ ・アパレル製品の品質管理の為に必要な知識を学ぶ(家庭用品品質表示法について)		
到達目標	・アパレル製品を扱う上で必要な基礎知識を身につける ・素材知識を深め、特性を理解することで、消費者に正しく商品情報を伝えることが出来るようになる ・店頭にある商品がどのような加工をされているのか、実習で学ぶ		
授業の方法	・基本素材ブックの作成で、実際の生地に触れながら素材名や特徴を理解する ・プリント資料をベースに基本知識を説明していく ・実習でもの作りを体験する ・自身で素材構成を考えていくことで、商品企画を理解する		
成績評価の方法	出席率、受講姿勢 テスト、作品完成度(ステンシル) ※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。		
特 記 事 項			
教員の実務経験	☒ 有 実務概要(テキスタイルデザイン、OEM企画、品質管理)		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	ファッション業界におけるテキスタイル	ファッション業界の大きな流れとテキスタイルのトレンドを説明／ これからの進行を説明
2回	繊維の分類と名称、生地が出来るまで	繊維についてと、その繊維が生地になるまでを学ぶ
3回	繊維についての小テスト、織物と編物	小テスト実施、織物と編物についての知識を学ぶ
4回	三原組織について、素材ブック作成①	織物の三原組織を知る。素材ブックを作りながら生地特性を知る
5回	素材ブック作成②植物繊維について	素材ブックを作りながら生地特性を知る(綿、麻について)
6回	素材ブック作成③動物繊維について	素材ブックを作りながら生地特性を知る(羊毛、獣毛について)
7回	前期末テストと解説	期末テストで習得度を測る
8回	染色について・ステンシル実習	染色について学び、ステンシル実習でプリント効果を知る
9回	素材ブック作成④化学繊維について	素材ブックを作りながら生地特性を知る(化学繊維について)
10回	素材ブック作成⑤カットソーについて	素材ブックを作りながら生地特性を知る(カットソーについて)
11回	品質について(家庭用品品質表示法)	商品を販売する際に必要な、家庭用品品質表示法を学ぶ
12回	品質について(品質とクレーム)	品質試験の項目と市場で起こるクレーム事例と解決法を知る
13回	素材構成①	商品の素材構成を説明し、自身でターゲットを決め素材の当て込みをする
14回	素材構成②	素材とアイテムを適合させ、洗濯表示を自身で考える
15回	後期末テストと解説	期末テストで習得度を測り、解説を聞いて復習する

1日3時間 × 15回 = 45時間

科 目 名	ファッション論	教 員 名	清水 早苗
授業時数・単位	45 時間 1.5 単位	対象クラス	SC 科 1 年
授業テーマ・概要	①ファッションについて学び、考えるために必要な基礎的知識を習得する。 ②人が服を着ること、身体を飾ることの意味、時代との関係などを、伝統的服飾文化から現代ファッションに至るまでの流れを通して、考える。 ③ファッションクリエイションの特色、クリエイションとビジネスの深い関係とは、どのようなことなのか、デザインやアートの歴史も見ながら、考察する。		
到達目標	①ファッションが好きというだけでは、クリエイターとしての仕事もビジネスもできない。プロとして仕事をするために、何が必要かを理解する。 ②衣服やデザイン、流行などについて深い理解を得る。 ③ファッションの歴史を知ること、ファッションの現状とこれからの可能性について、クリエイションとビジネスの両面から考える能力を高める。 ④感性、創造性、審美眼を高める。 ⑤調べる力と発表する力をつける。		
授業の方法	①講義、及び、ワークショップ・グループワークとその発表を基本とする。 ②スライドやビデオ、衣服などを使って理解の手助けとする。 ③内容によって、レポートや感想文の提出を求める。 ④課題提出、期末テスト、小テストを実施する。		
成績評価の方法	①出席率:40% *出席加点 +0~10点 *授業態度(積極性・マナー) 加点 +0~10点 ②課題、レポート:20% *提出期限遅れ減点 -30%~14% ③期末テスト:20% ④その他(ミニテスト・感想文など):20% ※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。		
特記事項	①テキストは、「ファッション販売3」を部分的に使用、他は、サイトを紹介する。 ②授業には、ノートとレポート用紙、2色の筆記用具を持参すること。 ③グループワーク等の関係により、スケジュールが前後する場合がある。		
教員の実務経験	(有) 無 実務概要(スタイリスト、ファッション写真のディレクション、書籍の編著。雑誌・新聞などに服飾評論。ブランドのブランディング及びクリエイティブディレクションなど)		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	ファッションの基礎知識	・オリエンテーション(授業内容、評価方法など) ・「ファッション」とは。
2回	ファッションの基礎知識	・「デザイン」とは。 ・ファッションデザインの要素
3回	ファッションの基礎知識	・「流行」とは。 ・ワールドコレクションについて
4回	ファッションの歴史①	・20世紀-1(日本文化との関係)
5回	ファッションの歴史②	・20世紀-2 ・オートクチュールとは。
6回	感性・審美眼を養う	・展覧会鑑賞-1(グループワーク)
7回	プレゼンテーション	・プレゼンテーションの実践-1(グループワーク)
8回	ファッションの歴史 ③	・1960年代-1 ・ワークショップ
9回	ファッションの歴史 ④	・1960年代-2 ・ワークショップ
10回	ファッションの歴史 ⑤	・1970年代(日本人デザイナーを中心として)
11回	ファッションの歴史 ⑥□	・1980年代(日本人デザイナーを中心として)
12回	ファッションの歴史 ⑦	・1990年代 ~ 2000年代
13回	感性・審美眼を養う	・展覧会鑑賞-2(グループワーク)
14回	プレゼンテーション	・プレゼンテーションの実践-2(グループワーク)
15回	全体のポイントの復習	・覚えておくべきポイント ・今後のファッションの可能性

1日3時間 × 15回 = 45時間

科 目 名	パソコンワーク	教 員 名	塚田 大祐
授業時数・単位	90 時間 3 単位	対象クラス	SC 科 1 年
授業テーマ・概要	ファッションの業界においても、パソコンを使用しないで仕事をするということはあまりありません。 Webでの画像加工や印刷物の作成、売上管理や顧客管理などはパソコンが絶対必須のツールになります。 この科目では、画像加工をするPhotoshop、印刷物を作成するIllustrator、案内状等を作成するWord、売上管理や顧客管理等で使用するExcel、プレゼンテーションや企画書に使用するPowerPointの基本操作を習得し、理解していきます。またデータ保存等でのクラウドの使用方法やスマートフォンとPCの両方を活用しながら指導します。 パソコンでできることは多岐に渡っており、スマートフォンやタブレットとの連携は今の時代は必須となってきました。 1年間の中でアプリケーションの基本操作をマスターし、自分のイメージしたものを制作・管理できるように指導します。		
到 達 目 標	・Photoshop：画像の加工・合成・編集等の操作を習いながら、SNSやカタログ等に使用する画像の加工方法を習得すること。 ・Illustrator：トレンドマップやポストカード等の作成に必要な操作を習いながら、Photoshopで加工した画像を貼り付けて1つの作品を完成させること。 ・Word：表組みや画像取り込みも含めた簡単な案内状の作成ができること。 ・Excel：見やすい表組み作成と代表的な関数・グラフを使用してデータ作成ができるようになること。 ・Power Point：プレゼンテーション資料や企画書を作成する手法を習得すること。 ・Cloud：グーグルクラウドを使用して、データの保存やクラウド上でのデータ編集の方法を習得すること。		
授 業 の 方 法	各アプリケーションごとに資料を用意し、全員同じものを作成しながら基本操作を学んでいきます。 その後に、課題(例:自分の好きなアーティストのコラージュなど)を作成して、制作条件やバランスを見て評価します。		
成績評価の方法	◎課題の出来映え(デザインや全体のバランス、アプリケーションの機能をうまく活用しているか) 65% ◎テスト 10% ◎授業に対する態度・マナー 10% ◎出席率 15% ※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。		
特 記 事 項			
教員の実務経験	(有)・無 実務概要(印刷物の制作・Webサイトの企画・制作・運用)		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	授業進行の説明・クラウドの使い方	パソコンのセッティング・操作方法・データ保存方法・データの取り扱いについて・グーグルクラウドの説明
2回	PowerPoint基礎1	基本操作(スライドの追加・図形等の挿入)画像等の加工など
3回	PowerPoint基礎2	スライドマスター・スライドショーの設定、動画挿入・スマートフォンとパソコンと併用しながらのデータ作成
4回	PowerPoint課題3	企業の紹介プレゼン資料作成の課題1(パソコンとスマートフォンを使用)
5回	PowerPoint課題4	企業の紹介プレゼン資料作成の課題2(パソコンとスマートフォンを使用)
6回	PowerPoint課題5	企業の紹介プレゼン資料作成の課題3(パソコンとスマートフォンを使用)
7回	Excel基礎1	基本操作(文字・数値入力・罫線作成・四則演算) 使用頻度の高い関数の使用方法
8回	Excel基礎2	表作成・グラフ作成
9回	Excelテスト	テスト
10回	Photoshop基礎1	画像の切り抜き1・合成・レイヤー操作(レイヤーとは・重ね順等)
11回	Photoshop基礎2	画像の切り抜き2・画像の補正
12回	Photoshop基礎3	画像・文字の加工
13回	Photoshop基礎4	レイヤーマスク・フィルタ効果
14回	Photoshop課題1	自分の好きなもののコラージュを作成1
15回	Photoshop課題2	自分の好きなもののコラージュを作成2
16回	Illustrator基礎1	画面構成説明・オブジェクトの塗りと線・図形作成・編集
17回	Illustrator基礎2	簡単なアイコンを作成してみる
18回	Illustrator基礎3	A4チラシを作成しながらの演習1(文字の入力・画像の挿入・クリッピングマスクの作成)
19回	Illustrator基礎4	A4チラシを作成しながらの演習2(文字の加工・画像の加工とレイアウト)
20回	Illustrator基礎5	DMを作成しながらの演習1
21回	Illustrator基礎6	DMを作成しながらの演習2
22回	Illustrator / Photoshop課題1	自分の名刺を作成1
23回	Illustrator / Photoshop課題2	自分の名刺を作成2
24回	Illustrator / Photoshop課題3	ファッションショーのDMを作成1
25回	Illustrator / Photoshop課題4	ファッションショーのDMを作成2
26回	Illustrator / Photoshop課題5	ファッションショーのDMを作成3
27回	Illustrator / Photoshop課題6	スタイリングノートの作成1
28回	Illustrator / Photoshop課題7	スタイリングノートの作成2
29回	Illustrator / Photoshop課題8	スタイリングノートの作成3
30回	Illustrator / Photoshop課題9	スタイリングノートの作成4

1日3時間 × 30回 = 90時間

科 目 名	コミュニケーションマナー	教 員 名	塩 山 玲
授業時数・単位	45 時間 1.5 単位	対象クラス	SC 科 1 年
授業テーマ・概要	社会人になると、友人関係とは異なる、ビジネスを通してつながる人間関係が、重要な位置を占めていきます。 特に、スタイリストや販売職として活躍するためには人間関係を円滑にするコミュニケーションスキルが大変重要です。 より良い人間関係づくりと、自分を活かすための基本のコミュニケーションとマナーを学びます。		
到達目標	・基本のコミュニケーションとマナーの必要性を理解すること。 ・正しい言葉遣い、立ち居振る舞いが自然にできること。 ・就職活動を視野に入れ、積極的な行動ができるようになること。		
授 業 の 方 法	講義だけでなく、繰り返しのロールプレイングで、基本をブラッシュアップしていきます。 就職活動、卒業後の社会人生活に向けて、実践的な演習を行います。		
成績評価の方法	◎課題:50% ◎授業への取り組み姿勢:40% ◎テスト:10% ※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。		
特 記 事 項	授業で学んだことは、日常で実践しましょう。 日常的に好奇心を持ち、トライアンドエラー経験を通じてグロースマインドセットを意識しましょう。		
教員の実務経験	☒ 有 無 実務概要（企業人事、企業研修）		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	オリエンテーション／コミュニケーションマナーの重要性
2回	ビジネス基本コミュニケーション	コミュニケーションの基本: 話の仕方聞き方
3回	ビジネス基本コミュニケーション	好感度の高い第一印象を作る立ち居振る舞い、マナーの必要性
4回	ビジネス基本コミュニケーション	敬語演習(敬語の種類、使い方など)
5回	ビジネス基本コミュニケーション	ビジネスシーンでの訪問マナー／席次のマナー
6回	ビジネス基本コミュニケーション	ビジネスシーンでのマナー
7回	前期のまとめ&テスト	前期のまとめ&テスト
8回	就職活動対策	自身のキャリアを考える: 自己分析
9回	就職活動対策	就職活動の流れを理解する: 企業分析
10回	就職活動対策	エントリーシートの書き方・面接テクニックを学ぶ①
11回	自己プレゼンテーション	自己紹介
12回	就職活動対策	エントリーシートの書き方・面接テクニックを学ぶ②
13回	ビジネスプレゼンテーション	プレゼンテーション練習
14回	後期テスト・就職活動対策	後期テスト／面接準備(伝わる技術について)／ロールプレイング
15回	就職活動対策	面接準備と春休み中の就職活動について／ロールプレイング

1日3時間 × 15回 = 45時間

科 目 名	英会話 I (シニアコース)	教 員 名	NATHAN HORNSBY
授業時数・単位	45 時間 1.5 単位	対象クラス	SC 科 1 年
授業テーマ・概要	英会話を学ぶ上では、相手が話していることを理解し、自分が思っていることを相手に伝えることができるようになることが重要です。多くの学生は英語は難しいと思っていますが、苦手意識を捨てて、意欲的に授業に参加し、トライしてみることで、自分が「解る＆出来る」ことに気づき、それを繰り返すことで、「解る＆出来る」といった気持ちが膨らんでいきます。授業では、日常会話の他、海外旅行で役立つ会話、ファッションに関連する会話など、英語で簡単なコミュニケーションがとれるようになることを目指します。英語でのコミュニケーションがとれるようになると、旅行、友達、仕事など、人生の幅が広がりますので、皆さんに、そういった広い世界を知ってもらえるための手助けをしたいと思っています。		
到 達 目 標	・外国人との英語での簡単なコミュニケーションがとれるようになること。 ・日常会話やビジネス会話の基礎を理解し、就職後、仕事に活かすことができるようになること。 ・英語でのコミュニケーションにより、広い世界を知り、豊かな人生を送ること。		
授 業 の 方 法	楽しい英語で、楽しくコミュニケーションし、英語に対する恐怖心をなくすことが基本になります。 毎回の授業の始めに、教師が学生に英語で簡単な質問をし、学生は英語でそれに答える訓練をします。 そのあと、テキスト&CDおよび教師が用意したレジュメを使用し、リスニングや会話のロールプレイングを行います。授業中はいつでも学生が教師に質問できるので、積極的に質問して、解らないことはその場で解決するようにしてください。		
成績評価の方法	・出席率 20% ・授業態度(参加意欲) 20% ・テスト 60% ※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。		
特 記 事 項	テキストとして「FASHIONABLE ENGLISH a language course for design students」(南雲堂)を使います。		
教員の実務経験	有・ ☒ 無 実務概要(英会話講師)		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	オリエンテーション 、 Placement Test
2回	0 IT'S NICE TO MEET YOU !	教師と会話、テキスト(Meeting People)・日常会話ロールプレイング
3回	1 WHAT SHALL I WEAR ?	教師と会話、テキスト(Clothes and Apparel)・日常会話ロールプレイング
4回	↓	教師と会話、テキスト(Clothes and Apparel)・日常会話ロールプレイング
5回	2 WHAT COLOR IS IT ?	教師と会話、テキストブック(Colors and Patterns)・日常会話ロールプレイング
6回	↓	教師と会話、テキストブック(Colors and Patterns)・日常会話ロールプレイング
7回	3 WHAT'S IT MADE OF ?	教師との会話、テキスト(Materials)・日常会話ロールプレイング
8回	↓	教師との会話、テキスト(Materials)・日常会話ロールプレイング
9回	↓	教師との会話、テキスト(Materials)・日常会話ロールプレイング
10回	4 DO THEY MATCH ?	教師との会話、テキスト(Coordination)・日常会話ロールプレイング
11回	↓	教師との会話、テキスト(Coordination)・日常会話ロールプレイング
12回	↓	教師との会話、テキスト(Coordination)・日常会話ロールプレイング
13回	5 WHAT'S HOT AND WHAT'S NOT ?	教師との会話、テキスト(Styles and Trends)・日常会話ロールプレイング
14回	↓	教師との会話、テキスト(Styles and Trends)・日常会話ロールプレイング
15回	↓	教師との会話、テキスト(Styles and Trends)・日常会話ロールプレイング
16回	6 WHAT DOES HE LOOK LIKE ?	教師との会話、テキスト(Describing People)・日常会話ロールプレイング
17回	↓	教師との会話、テキスト(Describing People)・日常会話ロールプレイング
18回	↓	教師との会話、テキスト(Describing People)・日常会話ロールプレイング
19回	7 WHAT'S YOUR PLACE LIKE ?	教師との会話、テキスト(Home Decorating)・日常会話ロールプレイング
20回	↓	教師との会話、テキスト(Home Decorating)・日常会話ロールプレイング
21回	↓	教師との会話、テキスト(Home Decorating)・日常会話ロールプレイング
22回	8 WHERE DID YOU GET IT ?	教師との会話、テキスト(Shops and Cafes)・日常会話ロールプレイング
23回	↓	教師との会話、テキスト(Shops and Cafes)・日常会話ロールプレイング
24回	↓	教師との会話、テキスト(Shops and Cafes)・日常会話ロールプレイング
25回	9 HOW DO YOU MAKE IT ?	教師との会話、テキスト(Sewing and Cooking)・日常会話ロールプレイング
26回	↓	教師との会話、テキスト(Sewing and Cooking)・日常会話ロールプレイング
27回	↓	教師との会話、テキスト(Sewing and Cooking)・日常会話ロールプレイング
28回	10 HOW OFTEN DO YOU GET A HAIR CUT ?	教師との会話、テキスト(Daily Routines)・日常会話ロールプレイング
29回	↓	教師との会話、テキスト(Daily Routines)・日常会話ロールプレイング
30回	↓	教師との会話、テキスト(Daily Routines)・日常会話ロールプレイング

1日1. 5時間 × 30回 = 45時間

科 目 名	英会話 I (エレメンタリーコース)	教 員 名	JERRY SCHLEGEL
授業時数・単位	45 時間 1.5 単位	対象クラス	SC 科 1 年
授業テーマ・概要	英会話を学ぶ上では、相手が話していることを理解し、自分が思っていることを相手に伝えることができるようになることが重要です。多くの学生は英語は難しいと思っていますが、苦手意識を捨てて、意欲的に授業に参加し、トライしてみることで、自分が「解る＆出来る」ことに気づき、それを繰り返すことで、「解る＆出来る」といった気持ちが膨らんでいきます。授業では、日常会話の他、海外旅行で役立つ会話、ファッションに関連する会話など、英語で簡単なコミュニケーションがとれるようになることを目指します。英語でのコミュニケーションがとれるようになると、旅行、友達、仕事など、人生の幅が広がりますので、皆さんに、そういった広い世界を知ってもらえるための手助けをしたいと思っています。		
到 達 目 標	・外国人との英語での簡単なコミュニケーションがとれるようになること。 ・日常会話やビジネス会話の基礎を理解し、就職後、仕事に活かすことができるようになること。 ・英語でのコミュニケーションにより、広い世界を知り、豊かな人生を送ること。		
授 業 の 方 法	楽しい英語で、楽しくコミュニケーションし、英語に対する恐怖心をなくすことが基本になります。 授業は、テキスト&CDおよび教師が用意したレジュメを使用し、リスニングや会話のロールプレイングを行います。 授業中はいつでも学生が教師に質問できるので、積極的に質問して、解らないことはその場で解決するようにしてください。		
成績評価の方法	・出席率 20% ・授業態度(参加意欲) 20% ・テスト 60% ※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。		
特 記 事 項	テキストとして「PASSPORT2」(OXFORD UNIVERSITY PRESS)を使います。		
教員の実務経験	有・ ☒ 無 実務概要(英会話講師)		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	オリエンテーション 、 Placement Test
2回	1.What's the purpose of your visit?	Listening、Conversation 、 Role play
3回	↓	↓
4回	↓	Review with worksheet and speaking practice
5回	2.How much is it?	Listening、Conversation 、 Role play
6回	↓	↓
7回	↓	Review with worksheet and speaking practice
8回	3.When is the next train to Xi'an?	Listening、Conversation 、 Role play
9回	↓	↓
10回	↓	Review with worksheet and speaking practice
11回	1～3の復習	テストのための復習
12回	テスト	テスト、まとめ
13回	4.The TV is broken.	Listening、Conversation 、 Role play
14回	↓	↓
15回	↓	Review with worksheet and speaking practice
16回	5.What is there to see?	Listening、Conversation 、 Role play
17回	↓	↓
18回	↓	Review with worksheet and speaking practice
19回	6.I'd like to rent a snowboard, please.	Listening、Conversation 、 Role play
20回	↓	↓
21回	↓	Review with worksheet and speaking practice
22回	7.Tell me about your country.	Listening、Conversation 、 Role play
23回	↓	↓
24回	↓	Review with worksheet and speaking practice
25回	8.How was your weekend?	Listening、Conversation 、 Role play
26回	4～7の復習	テストのための復習
27回	テスト	テスト、まとめ
28回	8.How was your weekend?	Listening、Conversation 、 Role play
29回	↓	Review with worksheet and speaking practice
30回	Free conversation	Free conversation

1日1.5時間 × 30回 = 45時間

科 目 名	校外研修 I	教 員 名	福原 葉瑠子
授業時数・単位	30 時間 1 単位	対象クラス	SC 科 1 年
授業テーマ・概要			
通常授業から離れ、様々な体験を積むことにより、教養の幅を広げ、感性を育むとともに、ファッション業界を目指す上で役立つ基礎的な素養を身につけます。			
到達目標			
この研修を通じて、できるだけたくさん「自分にとっての新たな発見」を体感してください。			
その発見から、興味・関心の幅を広げ、自己の成長に繋げることを目標とします。			
具体的には、ファッション業界への更なる興味喚起、社会人としてのコミュニケーションスキルの理解、効果的なステージ衣装の視察、デザインモチーフの考察、舞台演出の技法研究、演技・表現方法の観察などを目指します。			
授業の方法			
参加体験型の取り組みとなります。			
各自が積極的に参加し、自ら進んで多くの発見をしてください。			
①ファッション業界で活躍する方の講演		②レクリエーション講習	
③テーマパークコミュニケーションスキル・衣装研究		④芸術鑑賞（観劇）	
成績評価の方法			
各自が自主的に多くを吸収することを求める授業ですので、出席を重視し、成績はA・B・Cではなく、P(合格)・F(不合格)で評価します。			
P＝出席率75%以上 、 F＝出席率75%未満			
※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。			
特記事項			
本人の取り組み方次第で、多くを発見し、自己の成長に繋げることができる授業科目です。			
積極的に参加し、幅広い教養・感性等を習得してください。			
教員の実務経験	有 ・ ☒ 無 実務概要()		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	①ファッション業界で活躍する方の講演	学生時代から現在の仕事までの体験談・仕事について・学生へのアドバイス（3時間）
2回	↓	振り返り（1.5時間）
3回	②レクリエーション講習	事前オリエンテーション（1.5時間）
4回	↓	レクリエーションを通じたコミュニケーション技術の習得（6時間）
5回	↓	振り返り（1.5時間）
6回	③テーマパークコミュニケーションスキル・衣装研究	コミュニケーションスキルの研究・ステージ衣装視察（9時間）
7回	↓	振り返り（1.5時間）
8回	④芸術鑑賞（観劇）	観劇に向けての解説（1.5時間）
9回	↓	劇場での観劇（3時間）
10回	↓	振り返り（1.5時間）

科目名	インターンシップ I	教員名	福原 葉瑠子
授業時数・単位	30 時間 1 単位	対象クラス	SC 科 1 年
授業テーマ・概要	企業等で、実際の仕事現場での業務を体験する研修です。 プロの指導の下、業務を体験することで、プロ意識を植え付け、職業についての理解を深めます。 自分自身の職業適性を知る機会にもなり、将来の職業選択にも役立つ授業科目です。		
到達目標	企業等で与えられた仕事・課題を遂行し、職場において社会人としての基本的な行動ができること。 そして、体験した業務に関する職業観を会得することを目標とします。		
授業の方法	受け入れ先のルール・指示に従い、現場の業務を体験します。		
成績評価の方法	受け入れ先担当者からのフィードバック(書面または口頭による評価)、研修完了報告書等により、インターンシップを滞りなく完了したことを確認し、P(合格)・F(不合格)で評価します。 P＝インターンシップ完了、F＝インターンシップ未完了(欠勤や業務不適應で完了と認められない場合) ※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。		
特記事項	インターンシップ実施時間合計28時間以上の研修を対象とします。 また、複数のインターンシップに参加し、実施累計時間28時間以上となる場合も履修と認めます。		
教員の実務経験	有・ ☒ 無 実務概要()		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	事前指導	インターンシップの注意事項、受け入れ先企業の基本情報をレクチャー（1時間）
2回	インターンシップ	受け入れ先企業でのインターンシップ
～	↓	↓
11回	インターンシップ	受け入れ先企業でのインターンシップ（インターンシップ時間合計28時間以上）
12回	報告書作成	研修完了報告書の作成・提出（1時間）

科 目 名	ショープロデュースⅠ	教 員 名	福原 葉瑠子
授業時数・単位	30 時間 1 単位	対象クラス	SC 科 1 年
授業テーマ・概要	卒業・修了制作展のファッションショーの企画・演出・進行を担当します。 担当教員の指導の下、前年に経験のある上級生のサポートを受けながら、 チームでショーのプロデュースに取り組み、本番では進行に従事しショーを成功へ導きます。		
到達目標	ファッションショーについての理解を深め、効果的な企画・演出の方法を学びます。 チームミーティングで意見を出し合い、ファッションショーの企画・演出プランを組み立てるとともに、 ショー本番ではバックヤードでの進行を担い、自身の役割を遂行し、最終的にショーを成功させる ことを目標とします。		
授業の方法	担当教員による解説・アドバイスのもと、チームミーティングを繰り返し、みんなで意見を出し合って、 企画・演出のプランを組み立てていきます。 音楽の選曲や、台本の作成などは、チームで協力して作業し、進行の役割分担もチームで調整して 配置を決め、動き方の練習を積んでリハーサル・本番に臨みます。		
成績評価の方法	チームの一員として与えられた役割を果たせたかどうかを P(合格)・F(不合格)で評価します。 P＝積極的に参加しショーの成功に貢献した F＝欠席が多く、参加意欲に欠け、ショーの成功に貢献できなかった ※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。		
特 記 事 項			
教員の実務経験	有・ ☒ 無 実務概要()		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	キックオフミーティング	自己紹介・チーフ選任・ファッションショーについての解説等（1時間以上）
2回	企画ミーティング	ファッションショーの企画・演出、選曲等の打合せ（1時間以上）
～	↓	↓
9回	企画ミーティング	ファッションショーの企画・演出、選曲等の打合せ（1時間以上）
10回	進行準備・練習	ファッションショーの進行準備・練習（3時間以上）
～	↓	↓
13回	進行準備・練習	ファッションショーの進行準備・練習（3時間以上）
14回	リハーサル	会場でのファッションショーリハーサル（3時間以上）
15回	ファッションショー本番	ファッションショー本番当日のリハーサル・本番進行（6時間）

科 目 名	ショーフィッター I	教 員 名	福原 葉瑠子
授業時数・単位	30 時間 1 単位	対象クラス	SC 科 1 年
授業テーマ・概要	卒業・修了制作展のファッションショーのフィッターを担当します。 担当教員の指導の下、前年に経験のある上級生のサポートを受けながら、 チームで事前の準備を行い、本番ではフィッターに従事しショーを成功へ導きます。		
到達目標	ファッションショーのフィッターについての理解を深め、事前準備の方法や仕事内容について学びます。 チームミーティングで仕事の分担等を決め、本番に向けての事前準備を行うとともに、 ショー本番ではバックヤードでフィッターを務め、自身の役割を遂行し、最終的にショーを成功させることを目標とします。		
授業の方法	担当教員による解説・アドバイスのもと、フィッターの仕事内容を把握し、作品制作者と連携して事前準備を進めていきます。 担当するモデル・作品制作者とのコミュニケーションを図り、本番で完璧に着せ付けられるように練習を積み、リハーサル・本番に臨みます。		
成績評価の方法	チームの一員として与えられた役割を果たせたかどうかを P(合格)・F(不合格)で評価します。 P＝積極的に参加しショーの成功に貢献した F＝欠席が多く、参加意欲に欠け、ショーの成功に貢献できなかった ※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。		
特 記 事 項			
教員の実務経験	有・ ☒ 無 実務概要()		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	キックオフミーティング	自己紹介・チーフ選任・フィッターについての解説等（1時間以上）
2回	ミーティング	担当モデルの決定・準備に関する打合せ（2時間以上）
3回	準備作業	作品制作者打ち合わせ、段取り確認、チェックリスト作成、ラック等準備（3時間以上）
～	↓	↓
5回	↓	↓
6回	フィッティング練習	ショーの進行に合わせたモデルへの着せ付け練習（3時間以上）
～	↓	↓
8回	↓	↓
9回	リハーサル	会場でのファッションショーリハーサル（3時間以上）
10回	ファッションショー本番	ファッションショー本番当日のリハーサル・本番でのフィッティング（6時間）

科 目 名	ショーヘアメイク I	教 員 名	猪股 義明 ・ 成田 幸代
授業時数・単位	30 時間 1 単位	対象クラス	SC 科 1 年
授業テーマ・概要	卒業・修了制作展のファッションショーのヘアメイクを担当します。 担当教員の指導の下、前年に経験のある上級生のサポートを受けながら、 チームで事前の準備を行い、本番ではヘアメイクに従事しショーを成功へ導きます。		
到 達 目 標	ファッションショーのヘアメイクについての理解を深め、事前準備の方法や仕事内容について学びます。 チームミーティングでヘアメイクコンセプト等を決め、本番に向けての事前準備を行うとともに、 ショー本番ではバックヤードでヘアメイクを務め、自身の役割を遂行し、最終的にショーを成功させることを目標とします。		
授業の方法	担当教員による解説・アドバイスのもと、ヘアメイクの仕事内容を把握し、チームで連携して事前準備を進めていきます。 試作を重ね最終形が決まった後は、本番で完璧にヘアメイクができるように練習を積み、リハーサル・本番に臨みます。		
成績評価の方法	チームの一員として与えられた役割を果たせたかどうかを P(合格)・F(不合格)で評価します。 P＝積極的に参加しショーの成功に貢献した F＝欠席が多く、参加意欲に欠け、ショーの成功に貢献できなかった ※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。		
特 記 事 項			
教員の実務経験	☒ 有 実務概要(ファッションショー、広告、TVCM、雑誌 等のヘアメイク)		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	キックオフミーティング	自己紹介・チーフ選任・ヘアメイクについての解説等（1時間以上）
2回	ミーティング	担当モデルの決定・準備に関する打合せ（2時間以上）
3回	準備作業	コンセプト打合せ、道具・用品の調達、試作ヘアメイク（3時間以上）
～	↓	↓
5回	↓	↓
6回	ヘアメイク練習	最終形ヘアメイクの練習（3時間以上）
～	↓	↓
8回	↓	↓
9回	リハーサル	会場でのファッションショーリハーサル（3時間以上）
10回	ファッションショー本番	ファッションショー本番当日のヘアメイク（6時間）

科 目 名	ショーモデルウォーキングⅠ	教 員 名	三島 亜希子
授業時数・単位	30 時間 1 単位	対象クラス	SC 科 1 年
授業テーマ・概要	卒業・修了制作展のファッションショーのモデルを担当します。 担当教員の指導の下、前年に経験のある上級生のサポートを受けながら、 チームで事前の準備を行い、本番ではモデルに従事しショーを成功へ導きます。		
到 達 目 標	ファッションショーのモデルについての理解を深め、事前準備の方法や仕事内容について学びます。 ウォーキング、表情や服の見せ方のトレーニングを重ね、本番に向けての事前準備を行うとともに、 ショー本番ではモデルを務め、自身の役割を遂行し、最終的にショーを成功させることを目標とします。		
授業の方法	担当教員による解説・アドバイスのもと、モデルの仕事内容を把握し、トレーニングを重ねて事前準備を進めていきます。 ショー本番でのフォーメーションが決まった後は、本番で完璧なウォーキングができるようにフォーメーションの練習を積み、リハーサル・本番に臨みます。		
成績評価の方法	チームの一員として与えられた役割を果たせたかどうかを P(合格)・F(不合格)で評価します。 P＝積極的に参加しショーの成功に貢献した F＝欠席が多く、参加意欲に欠け、ショーの成功に貢献できなかった		
※成績評価基準は、校内ルール4項(2)に準拠する。			
特 記 事 項			
教員の実務経験	☒ 有 無 実務概要(ファッションモデル)		

回数	授業テーマ	授業内容
1回	キックオフミーティング	自己紹介・チーフ選任・モデルについての解説等（1時間以上）
2回	トレーニング	ウォーキング・表情・服の見せ方のレッスン（1.5時間以上）
～	↓	↓
7回	↓	↓
	（フィッティング）	（作品制作過程で随時フィッティング実施）（1時間以上）
8回	ウォーキング練習	フォーメーションでのウォーキングの練習（2時間以上）
～	↓	↓
12回	↓	↓
13回	リハーサル	会場でのファッションショーリハーサル（3時間以上）
14回	ファッションショー本番	ファッションショー本番当日のリハーサル・本番でのウォーキング（6時間）

スタイリスト・コーディネーター科 授業科目一覧表									
分類	授業科目	必・選 の別	1 年次		2 年次		授業 種類	担当教員	業界 実務 経験
			年間授業 時間数	単位	年間授業 時間数	単位			
専門科目	スタイリングⅠ	必修	90	3			実習	長田 広美	○
	スタイリングⅡ	必修			90	3	実習	長田 広美	○
	編集スタイリング	必修			90	3	実習	西村 元良	○
	和のコーディネート	必修			45	1.5	実習	岩瀬 晃	○
	ファッションアドバイステクニック	必修			90	3	演習	大方 和則	○
	ヘアメイク	必修	90	3			実習	猪股 義明 / 成田 幸代	○
	カメラワーク	必修			45	1.5	実習	石田 英士	○
	カラー	必修	90	3			演習	落合 里美	○
	カラーコーディネート	必修			45	1.5	演習	杉本 祐子	○
	ファッションビジネス	必修	90	3			講義	面田 憲郎	○
	市場調査	必修			45	1.5	実習	伊藤 彩	○
	ファッションショー	必修			45	1.5	実習	三島 亜希子	○
	ショーディレクション	必修			45	1.5	実習	長田 広美	○
	リテールマーケティングⅠ	必修	45	1.5			演習	畑中 修司	○
	リテールマーケティングⅡ	必修			45	1.5	演習	畑中 修司	○
	ビジュアルマーチャンダイジングⅠ	必修	45	1.5			演習	小池 寛子	○
	ビジュアルマーチャンダイジングⅡ	必修			45	1.5	演習	小池 寛子	○
	スタイリングセッション	必修			90	3	実習	手嶋 ユキヒロ	○
専門関連科目	ファッション画	必修	90	3			実習	松本 和子	○
	ファッション造形Ⅰ	必修	90	3			実習	小峯 有華 / 福原 葉瑠子	○
	ファッション造形Ⅱ	必修			90	3	実習	皆川 空峰 / 福原 葉瑠子	○
	素材	必修	45	1.5			演習	島田 朋子	○
	ファッション論	必修	45	1.5			講義	清水 早苗	○
	パソコンワーク	必修	90	3			実習	塚田 大祐	○
	ビジネスプレゼンテーション	必修			45	1.5	演習	塩山 玲	○
一般科目	コミュニケーションマナー	必修	45	1.5			演習	塩山 玲	○
	英会話Ⅰ	必修	45	1.5			演習	NATHAN HORNSBY JERRY SCHLEGEL	×
	英会話Ⅱ	必修			45	1.5	演習	NATHAN HORNSBY JERRY SCHLEGEL	×
	校外研修Ⅰ	必修	30	1			実習	福原 葉瑠子	×
	校外研修Ⅱ	必修			30	1	実習	福原 葉瑠子	×
	インターンシップⅠ※	選択	30	1			実習	福原 葉瑠子	×
	インターンシップⅡ※	選択			30	1	実習	福原 葉瑠子	×
特別科目	ショープロデュースⅠ※	選択	30	1			実習	福原 葉瑠子	×
	ショープロデュースⅡ※	選択			30	1	実習	福原 葉瑠子	×
	ショーフィッターⅠ※	選択	30	1			実習	福原 葉瑠子	×
	ショーフィッターⅡ※	選択			30	1	実習	福原 葉瑠子	×
	ショーヘアメイクⅠ※	選択	30	1			実習	猪股 義明 / 成田 幸代	○
	ショーヘアメイクⅡ※	選択			30	1	実習	猪股 義明 / 成田 幸代	○
	ショーモデルウォーキングⅠ※	選択	30	1			実習	三島 亜希子	○
	ショーモデルウォーキングⅡ※	選択			30	1	実習	三島 亜希子	○
	必修科目授業時間数		930	31	930	31			
	選択科目授業時間数		150	5	150	5			
	卒業に必要な総授業時数		1700時間以上						
	全設置授業時数		2160時間						
	実務教員授業時数		1830時間						

※受講生の選抜を行う場合がある